

レセプトチェッカー-FUGA Ver. 1.2.0 S49 (build009) リリースノート

この文書は、レセプトチェッカー-FUGA安定版Ver. 1.2.0 S49導入時の注意事項などについて記載しています。

レセプトチェッカー-FUGAをご利用の際は必ず目を通していただくようお願いいたします。

また、これらの内容はユーザーのフィードバックを受けて更新されることがありますので、随時最新情報をご確認ください（最新情報は <http://receipt-checker.jp/downloadpage/> でご確認ください）。

1. 導入についての注意事項

1-1. アップデート適用環境について

レセプトチェッカー-FUGA 安定版S49インストーラを利用される場合は、インストーラをダウンロードするためのインターネット環境が必要です。

1-2. インストール方法

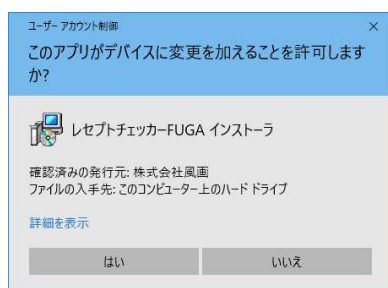
【手動更新】

(1) 下記サイトより、S49 インストーラ Setup.exe をダウンロードします。

レセプトチェッカー-FUGA 安定版のダウンロードサイト

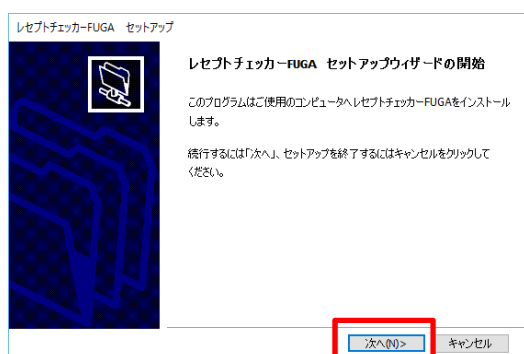
<http://receipt-checker.jp/downloadpage/>

(2) ダウンロードした Setup.exe をダブルクリックで起動します。

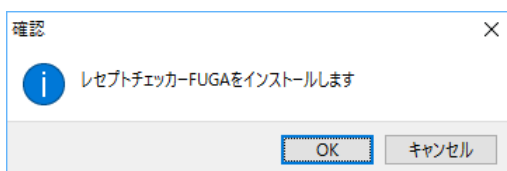


上図の「ユーザーアカウント制御」画面が出たら、「はい(Y)」をクリックして進めます。

「いいえ(N)」をクリックすると終了します。

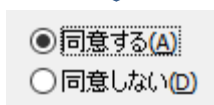
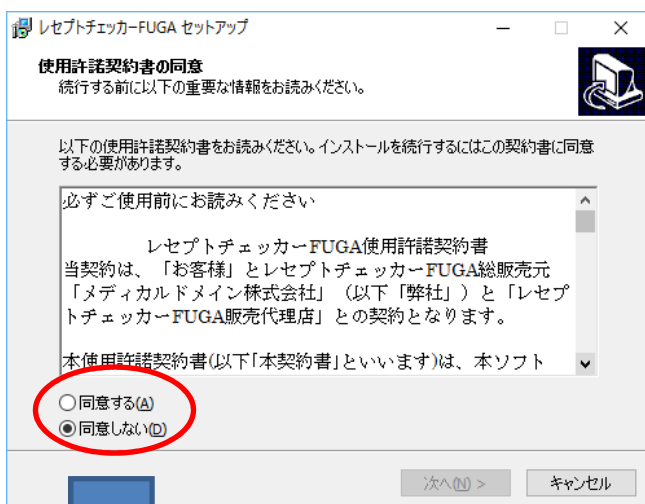


「レセプトチェッカー-FUGA セットアップウィザードの開始」画面が表示されるので、「次へ」をクリックします。

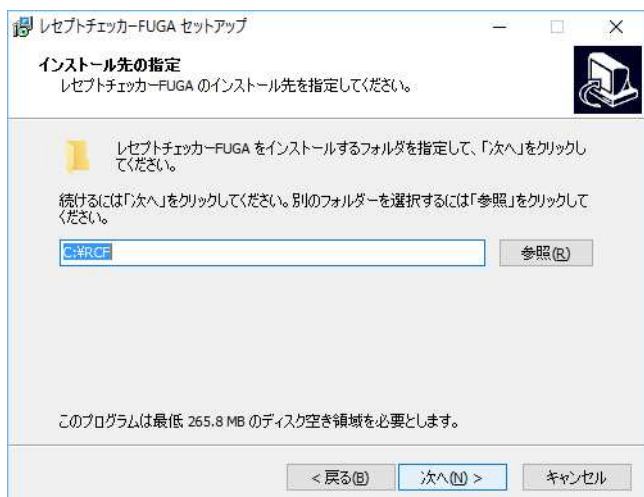


左図の確認メッセージが表示されますので、「OK」を選択します。

使用許諾契約書の同意についての確認画面が表示されます。スクロールすることで、最後までお読みいただけます。



「同意する」にチェックして「次へ」をクリックします。

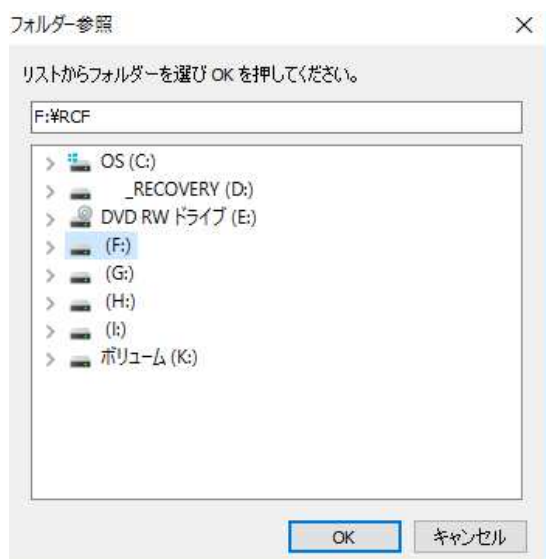


通常、Cドライブ(ローカルディスク(C))が指定されています。

確認後、「次へ」をクリックします。

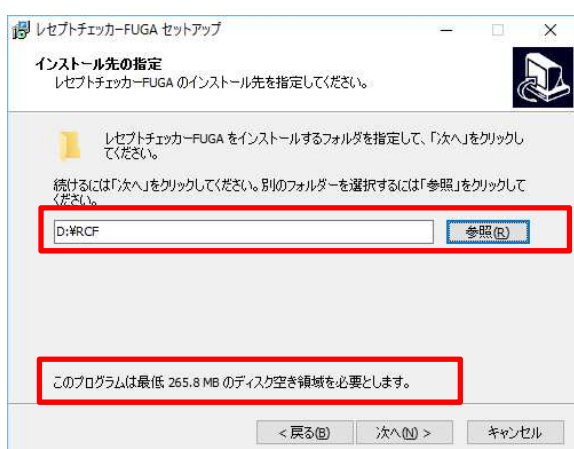
Cドライブ以外に既にインストールされている場合は、「参照」をクリックして変更します。

(次頁)



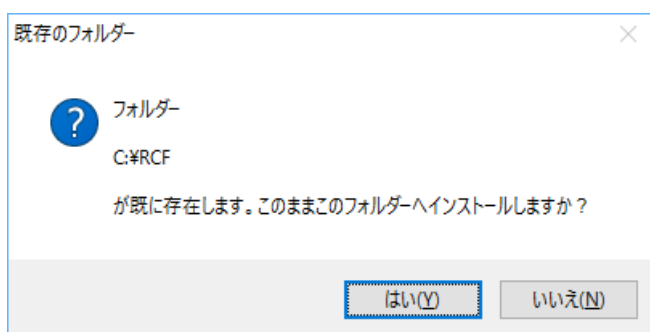
既にインストールされた先が、Cドライブでない場合は、「参照」をクリックします。

左図の画面が表示されるので、インストール先のフォルダを指定して「OK」をクリックします。



変更したインストール先と必要なディスク空き容量が表示されます。

「次へ」をクリックします



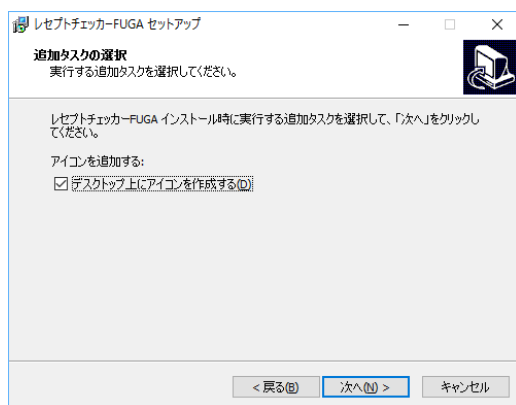
既にインストールされているので、確認のメッセージが表示されます。

「はい」をクリックします。

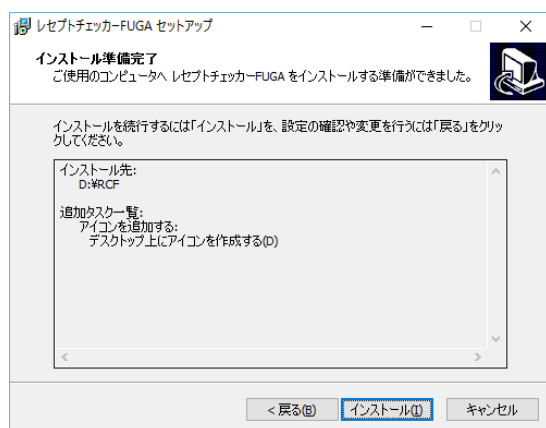
「はい」を選択しても既に登録された学習データや過去データは削除されません。

※上記メッセージが出ない場合は、既存インストール先に誤りがあるので、新規にインストールしたのと同じになるのでご注意ください。

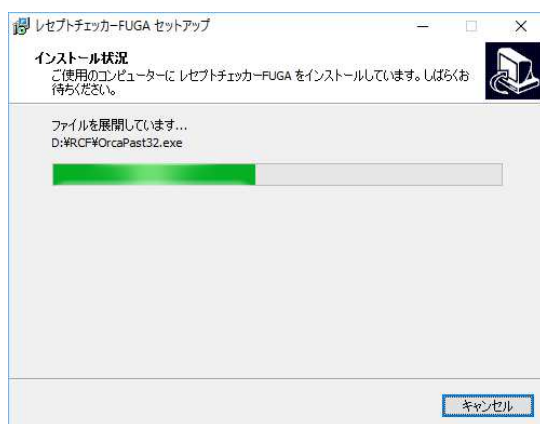
ただし、自動的にバックアップされていますので、「設定」→「データ保守（バックアップと復元）」で復元することは可能です。



「アイコンを追加する」の下の「デスクトップ上にアイコンを作成する」にチェックを入れて、「次へ(N)」をクリックします。



「インストール準備完了」画面が表示されるので「インストール(I)」をクリックするとインストールを開始します。



「インストール状況」が表示されます。

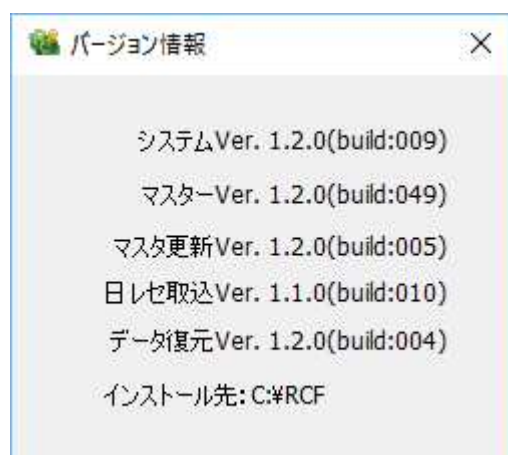


「Reset Checker-FUGA セットアップウイザードの完了」画面が表示されます。「完了」をクリックして終了です。

(3) システムバージョンは Ver. 1.2.0 (build:009)に変更されています。

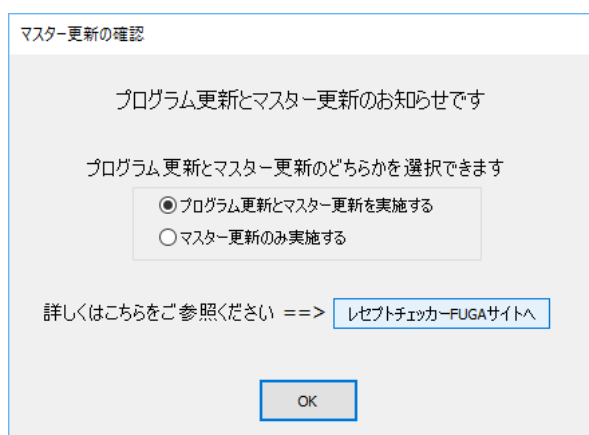


(4) システムバージョン以外のバージョン情報は、「システム Ver. 1.2.0 (build:009)」と表示されたボタンをクリックすると得ることができます。

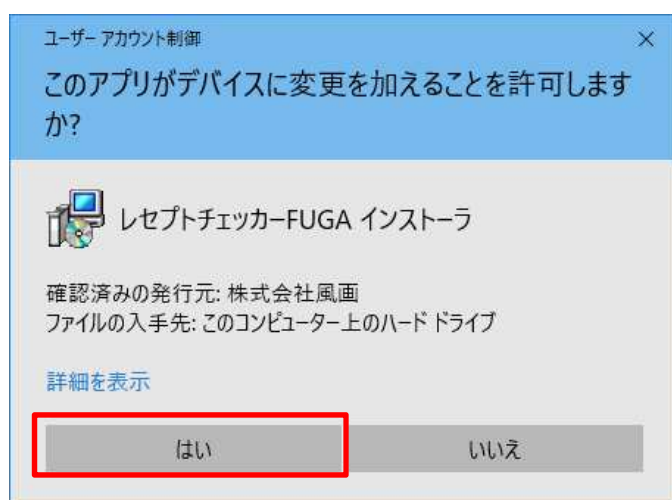


【自動更新】

「システムVer. 1. 2. 0(build:005)」以降のバージョン場合は、プログラム更新とマスター更新（診療行為や医薬品追加）の両方の更新がある場合は以下のように表示されますので、選択することができます。



「システム Ver. 1. 2. 0(bui ld:005)」以前のバージョンの場合は起動時に自動的にマスター更新のためのインストール用プログラム (Setup. exe) をダウンロードし、自動でインストール開始します。以下の画面が表示されますが、「はい」をクリックして進めます。



上記画面が出ずに、最右下のタスクバーに隠れている場合があります。



その場合は、 をクリックして表示させます。

以降は、【手動更新】の(2)からと同じ展開となります。

2. 変更された主な内容

(1) 10月5日付で、新規医薬品が追加されています。

詳しくは、下記サイト「マスター更新内容」をご参照ください。

<http://receipt-checker.jp/mn-s49/>

(2) 「レセプト抽出」のテンプレート設定で既に存在する「皮膚科特定疾患指導管理料（1）加算が未算定の場合抽出する」及び「皮膚科特定疾患指導管理料（2）加算が未算定の場合抽出する」者を抽出する」の2つの抽出条件の初診日基準を対象病名の診療開始日としました。
これにより、過去の履歴なしに抽出が可能になりました。

3. 不具合対応

- (1) 「レセプト抽出」の「複数条件設定」で「診療行為選択」の後、「条件傷病名選択」で傷病名を選択する際、「過去使用のみ」にチェックを入れて表示された病名を選択しても傷病名コードのみ抽出していたため対象傷病名が存在しても抽出されたりされなかったりするといった不具合を改善しました。

例：「診療行為選択」で、「鼓膜処置（片）」を選択

「条件傷病名選択」で、「過去使用のみ」にチェックを入れて「左穿孔性中耳炎」を選択しても「穿孔性中耳炎(3829008)」でのみ抽出し、「左」の修飾語が条件から外れていた。